JRK(凌佳)グループ

事業ご紹介

2026年 Q4 ｜ AI Transformation / Global Delivery / AI Talent

日本向けSIの実績を基盤に、AI駆動型SIとグローバルAI人材育成へ展開

PART 1：会社ご紹介

グローバル事業展開

EXECUTIVE

JRKグループの現在地

24年の対日SI基盤を、AI駆動型SIとグローバルAI人材供給へ拡張

1. 日本向けSI・開発実績

日立グループ等の大手企業向けに、長年のオフショア開発・品質保証・一括請負実績を蓄積。

2. AI駆動型SI

日本を代表するグローバル製造業大手N社のモダナイゼーション案件で、設計・開発・テスト・QAにAIを適用し、工数削減効果を実証。

3. AI人材供給基盤

大学・職業訓練校・東京AIアカデミーが連携し、日本企業向けAI人材を継続供給。



中国本社


産学連携AI人材育成


日本本社


セキュリティソリューション

COMPANY

済南凌佳科技有限公司｜中国本社

2002年設立。日本向けSIを支える開発・技術・人材育成拠点



日立システムズ（済南）開発センター


山東省・済南市・斉魯ソフトパーク

事業内容

- ソフトウェア開発/SI
- グローバルAI人材育成
- 指静脈認証機器製造/販売

成長の軸

日立グループ等の大手企業向け開発で培った品質・運用ノウハウを、AI人材育成・SIへ展開。

2002
済南設立

2008
共同開発センター

2025
AI人材育成拠点

メッセージ

中国拠点は、AI実装・人材育成・日本向け品質保証を担う総合拠点。

COMPANY

株式会社ジェーアールケー｜日本本社

2006年設立。日本顧客に向き合うAI駆動型SI・人材供給の中核



東京都新宿第一生命ビル



日本本社の役割

顧客対応・品質保証・契約管理を担い、中国側の開発・人材育成基盤と連携。

AI駆動型SI

モダナイゼーション、仕様変更・法改正対応、PMO、QA・テストのAI活用を支援。

人材・SES

SES・IT人材サービス、グローバルAI人材の育成・紹介。

由来と継続性

創業時のJapan Ryouka SystemからJRKへ。長年培ったIT事業基盤を活かし、AI事業へ展開。

HISTORY

会社沿革｜実績を重ねた日中連携モデル

開発センター、人材育成、指静脈、AI人材供給へ段階的に拡大


2008 開発センター開所式


2008 指静脈戦略提携



日経産業新聞当社報道


2025 AI技術訓練校


東京本社

2002

済南凌佳科技有限公司を設立。日立向けオフショア開発を開始。

2006

JRKを設立。日本側の営業・品質管理体制を整備。

2008

日立システムズ（済南）開発センターを設立。日立製作所と指静脈認証技術の中国展開に関するMOUを締結。

2009

済南市凌佳ブリッジSE養成学校を設立。「日立システムズ実践SE講座」を開設。

2018

寧波鋭智匯峰智能科技有限公司を設立。指静脈認証機器・SI事業へ展開。

2025

済南職業訓練校・東京AIアカデミーを軸に、日本向けAI人材の発掘・育成・供給へ展開。

CREDENTIALS

資格｜品質と技術の実績

品質管理・技術力・事業実績における認定・表彰



ISO9001



ISO27001



CMMI5



職業訓練学校運営ライセンス



"指静脈勤怠" 受賞



"指静脈システム" 受賞



"指静脈スマート機器" 受賞

品質・成熟度

ISO9001・ISO27001・CMMI5等の認証・評価実績。

技術・事業評価

アウトソーシング技術・成長企業として各種表彰を受賞。

AI・ハード事業基盤

指静脈認証・スマート機器・セキュリティ分野で受賞・認定実績。

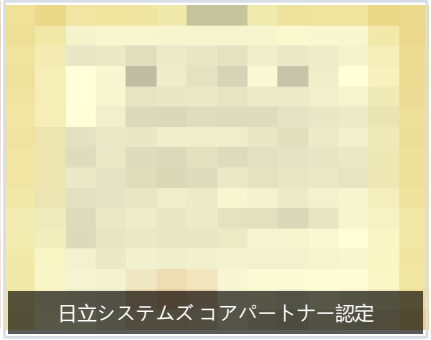
実績の意味　日本企業が求める品質・技術力・継続運営力の裏付け。

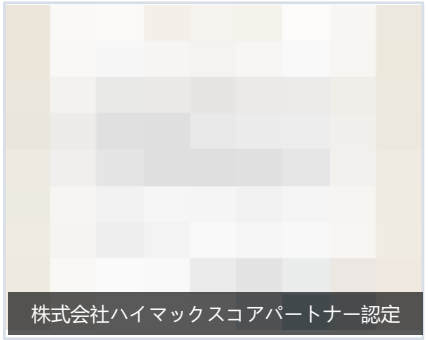
PARTNERS

日本における主要パートナー

日本企業との長年の協業・認定実績











日立システムズ

開発センター・人材育成・コアパートナー認定等、長年の協業実績。

日立製作所・関連会社

公共システム・指静脈認証・セキュリティ分野での連携実績。

その他日本企業

上場企業・SIer・ソフトウェア企業等との協業実績。

長期協業の価値　日本企業が求める品質・納期・現場対応力を長年の実績で証明。

TALENT HISTORY

産学連携IT人材育成実績 | 2009–2011

日立システムズ冠講座を3期実施し、現地開発センター向け中堅人材を育成


日経産業新聞

講師派遣 専門学校に講座

開発委託拠点で採用

日経産業新聞報道（2009年4月2日）


授業風景


講義


実践教育

概要

済南市凌佳ブリッジSE養成学校で、日立情報冠講座「実践SE講座」16科目を3年間・3期実施。

16科目
実践SE講座

3期
継続実施

約100名
中堅人材育成

カリキュラム構成

日本語基礎・生活日本語・ビジネス日本語・IT日本語・プロジェクト管理基礎・実践訓練・E-learning・日立実践SE講座。

PART 2：AI駆動型SI・モダナイゼーション

日本を代表するグローバル製造業大手で実証したAI活用実績と定量効果を、次の協業領域へ横展開

AI RECORD

N社様 AI駆動モダナイゼーション実績

設計書生成・コード生成・テスト自動化・QAまで一気通貫で実案件適用

対象システム
N社様 基幹販売管理システム（SMS）
現行JavaApplet 122業務モジュール / 247万行

SAP
標準業務プロセス
21モジュール

Intra Mart
ローコード画面
47コンテンツ

Java Spring+React
個別再構築
20モジュール

88単位
対応済み

1 現行Java解析 → 2 設計書生成 → 3 移行先設計 → 4 コード＋テスト → 5 E2E自動実行 → 6 QA・改修

ポイント　業務特性に応じた標準化・ローコード化・再構築により、将来の保守まで最適化。

AI活用による定量効果

計画ではなく、実案件で得られた効果を数値で提示

80人月	320〜350人月	約76%削減	約87%削減
実際の開発工数	従来方式の試算	開発工数削減効果	プログラム量削減効果

2.47Mstep → 0.32Mstep

既存プログラム量を大幅に削減し、将来の保守対象を簡素化。

設計網羅率 98%以上

AI生成資料を人が二段階で確認し、主要処理を設計へ反映。

無修正採用率 95%以上

個別開発部分の主要生成物を二段階確認後に高率採用。

証跡管理

テスト結果・修正履歴・確認記録をGitHubに関連付けて保存。

AIを「使ってみた」段階ではなく、開発工程・品質管理・人材育成まで実案件で運用済み。

N社実績から蓄積したAI活用ノウハウ

モダナイゼーションだけでなく、PMO・QA・テスト・運用改善へ横展開可能

PMO効率化
進捗・課題・成果物を一元管理し、報告資料を自動生成。

テスト効率化
設計書からテスト計画・データ・スクリプトを自動生成。

品質担保
AI生成物を人が二段階で確認し、デグレを自動回帰テストで検出。

知見再利用
プロジェクト特化AIツールとナレッジを次案件へ再利用。

診断 → PoC → 本番導入 → 運用改善 → 横展開

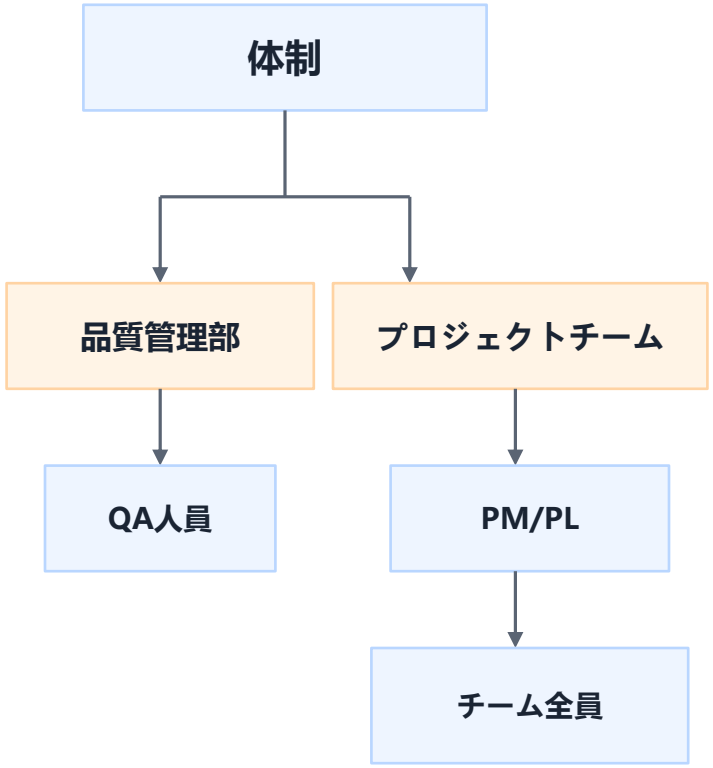
次の提案領域
既存資産解析、AIモダナイゼーション、AI仕様変更、AI法改正対応、AI PMO、AI QA、テスト自動化、人材投入・育成を組み合わせた共同提案へ。

PART 3：日本向け一括請負開発

品質保証と多様な技術領域に対応する開発基盤

開発体制及び品質保証

品質管理部門とプロジェクトチームのダブルチェック体制



品質管理部門の役割

- 品質保証手順の登録と更新
- 規則の発行と改版
- 品質検査
- 品質統計データの収集・分析

プロジェクトチームの役割

- 品質保証計画の作成・実施
- 計画・規則の遵守
- 内部検査の実施
- ドキュメント・品質記録の管理

AI時代への拡張

従来の品質保証に、AI生成物の二段階確認・回帰テスト自動化・証跡管理を追加。

DELIVERY

開発実績｜幅広い技術領域に対応

基幹系・公共・流通・保険・製造など、多様な業務領域で開発実績を蓄積

技術	主な業務領域	対応範囲
COBOL	公共・保険・年金関連	基本設計〜結合テスト・保守
VB / VBA / .NET	人事・公共・流通システム	基本設計〜総合テスト
Java / JSP / ASP	デジタル放送・認証・公共	基本設計〜結合テスト
PHP / Perl / JS	バイオ・学会・イントラネット	基本設計〜結合テスト
C / C++ / Pro*C	通信・Web・店舗・生産管理	詳細設計〜結合テスト
Shell / PL/SQL	ノーツ・製造・NW保守・保険	基本設計〜運用

開発基盤　豊富なSI実績を活かし、既存資産・品質・保守性を考慮したAI開発を実現。

PART 4：指静脈認証セキュリティ事業

設計・製造・ソリューションまでのワンストップ展開

SECURITY

指静脈認証セキュリティ機器

ハードウェア設計・製造から業務システム開発・運用保守まで対応



RK-FAA11シリーズ



認証端末



オフィス利用



自動販売機

金融・データセンター

中国建設銀行本社、上海銀行本社、中国銀聯、中国工商銀行本社など。

司法・公共

全国30以上の刑務所、政府機関、図書館、スマート人口管理など。

オフィス・福利厚生

日立華勝、NECソフト(済南)、富士ソフト(中国)等に導入。

小型金庫

ホテル、病院、老人ホーム、シェアハウス等の用途へ。

SECURITY

導入実績｜セキュリティソリューション

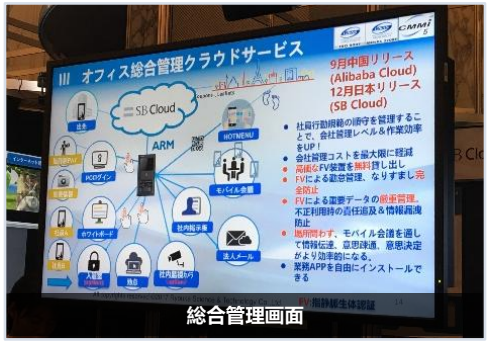
金融・公共・司法・建設現場・スマートシティまで幅広く導入


データセンター



インテリジェントオフィス


危険現場管理



総合管理画面

金融

中国建設銀行本店データセンター、上海銀行本店データセンター、中国銀行湖北支店など。

司法

全国30以上の刑務所で通路管理・本人認証に利用。

スマートシティ

山東省新泰市の人口管理プラットフォームなど。

建設現場

済南済斉黄河大橋など危険現場管理で共同特許実績。

PART 5：産学連携によるAI人材育成事業

大学正規カリキュラム・職業訓練校・実案件を連携させた実践型AI人材供給基盤

日本向けAI人材保障体系

発掘・基礎教育・高度教育・就職 / 留学までを一貫して運営

AI人材発掘・確保

大学正規授業・特別講座・SNSを通じて優秀人材を発掘。

→

済南校｜基礎教育

6ヶ月~1年。日本語・IT/AI・企業素養・PBLで実践力を育成。

→

東京校｜高度教育

短期・長期研修で高度日本語・DX・AI・PBL実践力を強化。

→

日本企業就職・留学

JRK・大手企業・教育機関への接続とキャリア支援。

大学で発掘・選抜し、実践教育を経て日本企業へ。採用前に適性・実力を評価。

AI人材を発掘・確保する実績

大学接点・正規カリキュラム・オンラインスカウトを組み合わせ、候補者母集団を形成

1単位・16コマ
山東交通学院の正規カリキュラムを担当

約2.5万人
山東交通学院の在学生規模

約30万人
複数大学との特別講座による接点規模

3経路
大学・SNS・選考育成を接続

① 産学連携による発掘

山東交通学院の正規授業を通じ、優秀なAI人材候補を早期発掘。

② オンライン・スカウト

SNS等を活用し、AI適性・意欲の高い学生・若手人材を発掘。

③ 選考・育成への接続

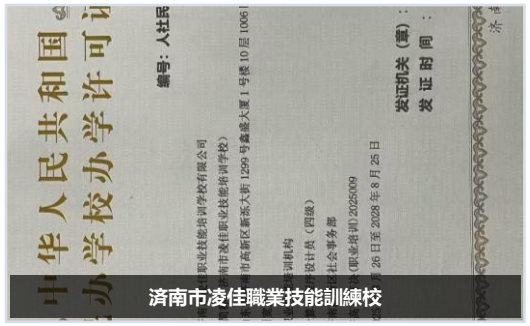
適性評価・選考を経て、実践教育から採用・実案件へ接続。

実績　大学正規授業・特別講座・選考実績に基づくAI人材供給体制。

AI TALENT

AI人材育成の実行モデル

済南校・東京校・実案件をつなぎ、日本企業で働ける人材へ育成



済南市凌佳職業技能訓練校

済南校の役割

日本語・IT/AI・企業素養・PBLの基礎教育を実施。

東京校の役割

日本の実務環境で、高度日本語・ビジネス対応力・実践力を強化。


東京AIアカデミー

発掘 → **基礎教育** → **PBL** → **高度教育** → **就職・留学**

大学・SNS　日本語＋IT/AI　実務型プロジェクト　DX・クラウド・AI　JRK・日本企業

採用側メリット　学習姿勢・適性・PBL成果を事前評価し、実務に適した人材を確保。

VALUE

JRKが提供できる価値

AI時代のSIと人材供給を、実績・品質・育成基盤で支える

実績で語れる AI活用

日本企業向け 品質基盤

AI人材供給の 実行基盤

AI領域における今後の協業テーマ

AIモダナイゼーション | AI仕様変更 | AI法改正対応 | AI PMO | AI QA | テスト自動化 | AI人材供給

ご清聴ありがとうございました

THANK YOU FOR LISTENING

JRK / RYOUKA Group